

課題名	技術開発代表事業者	共同事業者	概要
工場の未利用エネルギーを活用した小型発電システムの開発実証	パナソニック株式会社	株式会社ダ・ビンチ	未利用熱エネルギー関連の活用方法として、一般的なバイナリー発電には、「多量の冷却水での凝縮プロセスと熱交換器が必要」「水を扱うことによるメンテやスケール問題」等の課題がある。本事業では、未利用エネルギーを活用できる小型発電システムを開発し、冷却水レスを実現することでCO2 排出削減に貢献する。
高効率エネルギー利活用に向けた次世代型廃棄物処理システムの開発	日立造船株式会社	—	一般的な廃棄物発電には、雑多な廃棄物の焼却処理に伴う熱エネルギーを利用した発電システムであるため、効率が低く出力変動が大きいという課題がある。本事業では、新たな廃棄物の熱分解ガス化改質システムを開発し、水素リッチな可燃性のガスを生成して高効率かつ多用途のエネルギー利活用を実現することで、CO2 排出削減に貢献する。
地域間連携と相互補完による地産地消型エネルギーシステムの強靱化手法の実証	株式会社IHI	国立大学法人東北大学	脱炭素社会と災害への高いレジリエンス性の実現が求められているが、その両立には自立性・経済性等の課題が多い。本事業では、地産エネルギー（再エネ）と調整電源（民間発電設備等）を広域連携・相互補完させるシステムと高いレジリエンス性を有するマイクログリッドシステムを両立させ、さらに、多様な業種・参加者が再エネ及び再エネ価値のトラッキング可能なプラットフォームシステムを構築し、再生エネルギー普及拡大のハードルを下げ、CO2 削減に貢献する。

※上記は採択時の状況に基づく内容であり、評価委員会の指示等により内容に変更が生じることがあります。